

インターバンクの声（2017 年 3 月 7 日）

週末のニューヨーク市場は、利益確定のドル売り・円買いもあって 113 円台後半で取引を終えていたが、週明けの東京市場も朝方に 114 円台に戻したものの、その後は一日中 113 円台後半での取引に終始した。

北朝鮮のミサイル発射を受け、いつも通りの安全資産である円買いとなったことが強く影響したようで、アジア市場は週末にイエレン FRB 議長やフィッシャー副議長が月内の利上げに前向きな発言をしていた余波はほとんどなかった。

結局、週明けのニューヨーク市場でも昼過ぎに 114 円台に乗せたものの、113 円台での取引が中心となっている。

今日もアジア市場、欧米市場ともに昨日と同様、主要な経済指標の発表もなく、トランプ大統領の誕生で再度注目指標に返り咲きそうだった1月の米貿易収支の発表があるくらいだ。

米国の利上げが控えている以上、簡単にはドル売りを仕掛けるのも難しいが、周りのドル円担当のディーラーのほとんどがドルの上値が重いと感じているようだ。何かきっかけがあれば、即ドル売りに反応するということなのだろうか。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。